

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 6. 6 第 196 回国会第 25 号

6 月 6 日（水）、第 25 回の委員会が開かれました。

1 特定複合観光施設区域整備法案（内閣提出第 64 号）

・石井国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

源馬謙太郎君（国民）

- ・カジノ収益を上げるために人に来てもらってお金を使ってもらわなければいけないことと、世界最高水準のギャンブル等依存症対策を講ずることとは矛盾すると考えるが、石井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・カジノ事業者による特定金融業務はギャンブル等依存症を助長するので、例えば貸付金額の上限を決める必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

稲富修二君（国民）

- ・I R施設の工事期間が3年から5年、開業後の投資回収期間が約5年と推定すると、最初の区域整備計画の認定日から起算して7年後に上限区域数を見直すこととしているのはあまりにも早いのではないかと考えるが、石井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・I Rの整備による経済効果に関する試算がないにもかかわらず、事業収益が上がると確信しているのはなぜか、

石井国務大臣に伺いたい。

- ・国民の多くが反対している中、本当にI Rを推進していくのか、石井国務大臣の考えを伺いたい。

篠原豪君（立憲）

- ・カジノ施設への入場制限措置に関し、主たる顧客となり得る近隣住民に対して、より厳しい規制を設けるよう本法案を修正すべきと考えるが、石井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・I R事業の継続が困難となった場合を想定した内容を盛り込んだ上で、区域整備計画は立地都道府県等の議会において議決されるのか、石井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 29 年に世界で開催された国際会議の規模の上位 20 件（欧州のみでの開催を除く。）のうち、会場となった施設にカジノが併設されている数について、観光庁に伺いたい。